

「ダビデ王の最後の祈り」

歴代誌第1 29章10~19節

1

ダビデは全集団の目の前で【主】をほめたたえた。ダビデは言った。「私たちの父イスラエルの神、【主】よ。あなたはとこしえからとこしえまでほむべきかな。【主】よ。偉大さと力と栄えと栄光と尊厳とはあなたのもです。天にあるもの地にあるものはみなそうです。【主】よ。王国もあなたのもです。あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。富と誉れは御前から出ます。あなたはすべてのものの支配者であられ、御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてが偉大にされ、力づけられるのです。今、私たちの神、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄えに満ちた御名をほめたたえます。まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげにすぎません。 1歴代29:10-14

2

私たちは、すべての父祖たちのように、あなたの前では異国人であり、居留している者です。地上での私たちの日々は影のようなもので、望みもありません。私たちの神、【主】よ。あなたの聖なる御名のために家をお建てしようと私たちが用意をしたこれらすべてのおびたしいものは、あなたの御手から出たものであり、すべてはあなたのもです。私の神。あなたは心をためされる方で、直ぐなことを愛されるのを私は知っています。私は直ぐな心で、これらすべてをみずから進んでささげました。今、ここにあなたを、みずから進んであなたにささげるのを、私は喜びのうちに見ました。私たちの父祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、【主】よ。御民のその心に計る思いをとこしえにお守りください。彼らの心をしっかりとあなたに向けさせてください。わが子ソロモンに、全き心を与えて、あなたの命令とさとしと定めを守らせ、すべてを行わせて、私が用意した城を建てさせてください。」 1歴代29:15-19

3

自分の願いがかなえられなくても

- **ダビデには、どうしてそれができた？** 自分のためではなく、神のために生きていたから。
- 神は「**あなたの人生の一番大事な相手はわたしだ。**」と言われる
- モーセも約束地まであと一歩のところ、民の度重なる不信仰のゆえに怒り、失敗した。そのために約束の地に入れなかった。
- イエス様のゲッセマネの祈りも。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」
マタイ26:39

4

自分の願いがかなえられなくても

- 今の世の中の**自己中心の精神や生活スタイル**とは違う。
- ダビデは王であった。何でも持っていたが、そのすべてがどこから来たか、誰のものであるかを知っていた。(古川高晴、努力する才能)
- 神もダビデの心と努力を知っておられた。このことが聖書に書かれているのは私たちにもその生き方を学んでほしいから。神は私たちのすべても知っておられる。

5

ダビデの人生観(考え)

あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、**人とは、何者なのでしょう。**あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。あなたは、人を、神よりいくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。あなたの御手の多くのわざを人に治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました。
詩8:3-6

6

ダビデの人生観(考え)

- 「主は私の羊飼いで、私は乏しいことはありません。」詩23:1
- 神よ。私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。私は、【主】に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにはありません。」詩16:1-2
- わが神。私はみこころを行うことを喜びとします。あなたのおしえは私の心のうちにあります。詩40:8

7

ダビデの人生観(考え)

- わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。詩103:1-2
- どんなことがあっても、主が良くしてくださったことを忘れなかった。
- 心を尽くし、力を尽くして主に最高のものを捧げた。(神の恵みとあわれみに応える)

8

ダビデの人生観(考え)

- カインとアベル。アベルの捧げものは、「初子の中から最上のもの」創世4:4
- 「あなたがたの土地から取れる初穂の最上のものを、あなたの神、主の家に持って来なければならない。」出34:26
- あなたがたは、盲目の獣をいけにえにささげますが、それは悪いことではないか。足のなえたものや病気のものをささげるのは、悪いことではないか。さあ、あなたの総督のところへそれを差し出してみよ。彼はあなたをよみし、あなたを受け入れるだろうか。一方軍の【主】は仰せられる—
マラキ1:8

9

ダビデの神観(考え)

- 「全力を尽くして私の神の宮のために用意をした。、、、その上、私は、私の神の宮を喜ぶあまり、、、(それに)加えて、私の宝としていた金銀を」捧げた。1歴代29:2-3
- 自分の思うようにいかないで喜べない。もっと捧げるつもりであったがやめる？
- ダビデにとって神は宝よりも大切
- 神よりも自分が大切なら喜べない
- ピリピ教会やコリント教会の問題 ピリピ2:1、4:8、1コリント4:7

10

ダビデから学ぶ

- 主を喜ぶ心、主を宝よりも大切にすること。
- 心からの捧げものや賛美は神の心に届く。
- 救いには両面がある。神の心と私たちの心。
- 神の恵みに対する私たちの感謝
- 神の真実に対する私たちの誠実、忠実。
- 神のまことに対する私たちの誠。
- 無条件の愛と無条件の信頼(信仰)
- 神の愛は一方的だが、一方通行ではない。神は愛し合うことと信頼し合うことを求めておられる。

11

ダビデから学ぶ

- 十字架の愛と復活を知っている私たちはダビデ以上に喜び、捧げられるはず。
- 私たちも神の恵みに応えて生きたい。
- 私たちも神の愛にふさわしい人になりたい。
- ダビデは王であったが、へりくだり、従順な態度で主に仕え、喜びをもって心から捧げた。
- 私たちは、どのように仕え、どのように捧げているだろうか？

12